愛知教育大学研究報告，45（教育科学編），pp. 11～19, March, 1996

子どもの空間認知に基づく入門期絵地図の基礎的研究

寺本　潔・山田芳江
Kiyoshi TERAMOTO・Yoshie YAMADA
（地理学教室）　（豊橋市つつじが丘小学校）

I はじめに

子どもが地図帳を活用する能力は，学年とともに発達する。小学校第３・４年では，子どもは直観的なイメージをもとにして地図を読み取る傾向があり，第５・６学年になると空間認知の発達に従って平面地図や国土空間，外国地図，主題図，地球儀など客観性の高い地図を理解できるようになる。こうした子どもの発達段階に適合した地図帳の開発は，小学校における地理教育の重要な課題とされてきた。

斎藤（1969）は，小学校において第４・５・６学年が一冊の地図帳を使う事実に対し，発達段階に大きな差のある中学年と高学年とを分けずに，しかも制限されたページの中でかなり幅の広い内容を扱わなくてはならないことは，結局「地図への導入」の重要な段階が圧縮されてしまうことになる，と指摘した。また，中山（1983）は，イギリス・フランス・ドイツの学校地図帳を比較検討したうえで，学校における地図教育について「みる，知る，考える，発想する」の四段階の系統案を提示した。この中で中山はわが国の学校地図帳は，知ることのみが小・中・高校すべてを通じて支配しており，地名の数や主題図の種類がむやみに多いと述べた。

一方，伊倉（1987）は，自身の地図帳を使用した経験をもとに学校地図帳は「地図によって語らせる」課題を多く含ませるべきだとし，一枚の地図に多くの情報が盛られれば盛られる程，地図自身の持つ機能は薄くなってくると述べた。

このように小学校地図帳のあり方が問われる中，吉田（1990）は，イギリスと日本の小学校地図帳の比較を通して，地図帳のあるべき方向を展望した。この中で吉田は，斎藤（1969）が指摘した問題が20年間以上も解決されていないことに触れ，入門期の地図帳の開発を迫るべき課題とした。また，岩本（1986）も現行の小学校社会科のカリキュラムにとらわれない低学年向けの地図帳の必要性を訴えた。寺本（1994）も子どもの発達心理にうまく適合する方法として，五感を働かせた地図学習法の提案を行い，地図帳の開発を試みたが，未だ低学年用の地図帳は市販されている数点を除いて学校地図帳としては作成されていない。

そこで本稿では，小学校低学年から中学年にかけての地図帳のあり方に子どものメンタルな方向性を取り入れたエゴセントリックな地図を提案したい。

II 市販絵地図の内容

現在ではすでに，いくつかの出版社より小学校低学年から中学年の児童を対象にした地図帳が市販されている。ここでは小学館発行『ドラえもんのにほんちず』，国際地学協会発行『小学校アトラス　地図で見る日本はじめてみる日本の姿』，平凡社発行『ジュニア地図帳こども日本の旅』，同朋社出版発行『ピクチャーアトラスシリーズ　絵で見る日本大地図』の４冊を取り上げ，その内容を分析したい。

１．小学館発行『ドラえもんのにほんちず』の分析

(1)構　成

表１に示すように１～４ページにかけて，日本の国土と都道府県についての地図が載せられている。５～18ページにかけては，「九州地方」「中国・四国地方」「近畿地方」「中部地方」「関東地方」「東北地方」「北海道地方」の基本的な地方別区分による絵地図が構成されている。そして19～28ページには，「動物地図」「おばけ地図」「お祭り地図」「何でも日本一」といった子どもの興味・関心を引くような地図が載せられ，また裏表紙の見返しには県の鳥・県の花が出ているので自分の住んでいる地域（県）の情報を探しながら見ていくことができる。

表１　『ドラえもんのにほんちず』の構成

世界のなかの日本	1～2	東北地方	15～16
にほんのかたち	3～4	北海道地方	17～18
九州地方	5～6	動物地図	19～20
中国・四国地方	7～8	日本の鉄道	21～22
近畿地方	9～10	おばけ地図	23～24
中部地方	11～12	お祭り地図	25～26
関東地方	13～14	なんでも日本一	27～28

(2)考　察

子どもたちの人気者「ドラえもん」を主人公にして，日本各地の様子を紹介したものである。本の構成は，見開きの図版を中心にして，紙面の片隅にドラえもんの４コマ漫画を挿入して，漫画からの導入と図版からの導入という２通りの切り口から読めるようになっている。とくに４コマ漫画を採用したことで，地図になじみのない子どもたちが漫画をきっかけに地図の持つ楽しみに引きつけられる効果がある。地方別の地図では，都道府県別に色分けがなされ，写真やイラストをふんだんに盛り込みながら各所紹介がなされていたり，地図によって描かれている地方が日本のどこかを示すため日本地方の該当地方が赤くぬられているという工夫も見られる（写真１）。

しかしながら，従来からの地図の形式にとらわれるあまり，府県の平面的な形のみが重視され，イラストの配置があいまいになっているように感じられる。このため，せっかくのイラストか海上に浮かんでいるような感じになってしまっている。これでは，その土地とイラストのイメージを子どもの頭の中で一体化させることは困難であろう。

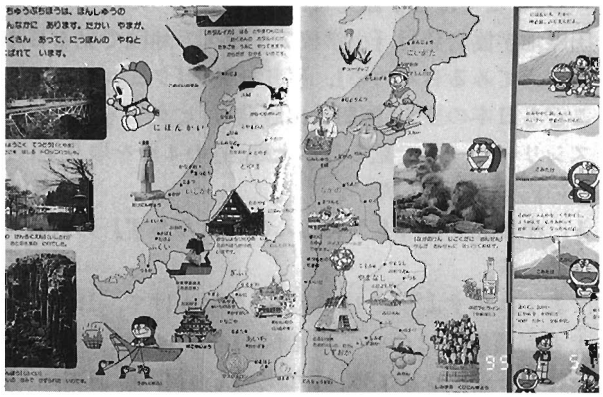


写真１　「ちゅうぶちほう」の絵地図
小学館発行『ドラえもんのにほんちず』，pp. 11～12を撮影。キャラクターがふんだんに盛り込まれているが，絵記号が海に浮かんでいるように見える。

２．国際地学協会発行『小学校アトラス　地図で見る日本　初めて見る日本の姿』の分析

(1)構　成

本地図帳も，冒頭に日本の国土と都道府県についての地図があり，これに続いて「えっ！日本のなかでも同じものなのにこんな違うんだね」「わ～！日本，て，こんなにたくさんみてみたいものがあるんだね」「ん…！それぞれのくらし　それぞれの文化」の３部で構成されている（表２）

(2)考　察

子ども向け地図帳では，地図の世界をともに旅してくれるキャラクターの存在は，子どもを地図に引きつける意味でとても効果的であると考えられている。しかし，本書では『ドラえもんのにほんちず』でみられたような全体を通しての一貫したキャラクターの存在は認められなかった。しかし，ところどころにハトが登場し，吹き出しを使ってコメントが付記されている（資料１）。

表２　『小学校アトラス　地図で見る日本　初めて見る日本の姿』の構成

1　夜明けと日暮の時間	19　本土から離れた島々
2　人工衛星から日本をみたら	20　今も伝わる子供の祭り見付けた
3　日本には47の都道府県があるんだ	21　あの物語り，どこで，だれが
4　こんなおかず食べたことあるかな	22　地域に尽くした人々
5　「浦島太郎」を方言でお話すると	23　あの歌のゆかりの場所は
6　夏休み・冬休み・春休み	24　近くにいく時，遠くにいくとき
7　住んでる家もいろいろだね	25　いろいろな動物や植物
8　九州地方	26　給食の材料はどこからきたの
9　中国地方	27　新しいもの，伝えられたもの，どこで作られるの
10　四国地方	
11　近畿地方	28　エネルギーの移り変りと使われ方
12　京阪神地方	29　世界で活躍する日本人
13　中部地方Ⅰ	30　市町村・都道府県・国それぞれの仕事はなんだろう
14　中部地方Ⅱ	
15　関東地方	31　都道府県別一覧表
16　京浜京葉地方	
17　東北地方	
18　北海道地方	

このハトは，子どもを地図の世界に誘う案内役までの役割は果たしていないものの，吹き出しを使うことで子どもの共感を呼ぶことは効果的である。本書の中で「わ～っ！日本って，こんなにたくさんみてみたいものがあるんだね」の部では，地方別のイラストマップが多数掲載されている。国内の各地方を11のエリアに分けて構成し，表２にみられるように後述する他社の地図帳と比較しても最も細かく分けられている。しかも，一つ一つの地方別のイラストマップにも多くの情報量が盛り込まれており，表５に中部地方を例にとってみても最も細かく描かれている。

しかし細かいエリアに分け，しかもの多くの情報量を盛り込むことは子どもたちの頭の中でイメージを形成する機能を半減させてしまうのではないだろうか。確かに辞書としての機能は高まるが，自分の認知できる空間との整合性が困難になり，地理的位置関係がかえってぼやけてしまいがちである。

写真２になるように低地は緑，高地は茶，山地は青・紫・深緑と土地の高低によって色分けを行っている，また県境もピンクでカラフルに色分けを行っていて，色鮮やかさで目を楽しませてはくれるが，絵記号が目立たず，かえって少々紛らわしい。



資料１　表示のくふう②
(『小学校アトラス 地図でみる日本 初めてみる日本の姿』，国際地学協会 P．８)



写真２　中部地方Ｉ国際地学協会発行『小学校アトラス　地図で見る日本初めてみる日本の姿』，pp. 27～28を撮影。情報が多すぎるため，絵記号が浮かんでいるように見える。

３．平凡社発行『ジュニア地図帳　こども日本の旅』の分析

(1)構　成

小学校の低学年から，高学年程度を対象に作られており，まことくんとあやこさんが気球に乗って，日本の上空を見下ろしながら，日本の地理について知ろうという設定になっている。

構成は，表３にあるように前半の基本図と後半の主題図の二つに大別される。

(2)考　察

この『ジュニア地図帳』は，現在の学校地理教育に求められるべき課題を有してもいる。第一に注目すべきは，従来，あるいは他社の地図帳と異なって上が北になっていない点が挙げられよう。多くは南西の方向から全体を見下ろす視点でとらえ，鳥瞰的法によって描かれてる。陰影のつけ方にも工夫が見られ，やや斜

表３　『ジュニア地図帳　子ども日本の旅』の構成

1　宇宙からみた日本	18　自然と暮らし　山
2　西南日本の自然	19　自然と暮らし　平野
3　西南日本の地名	20　自然と暮らし　海岸
4　西南日本の地理	21　千上がった日本と沈没した日本
5　中央日本の自然	22　こんなに違う各地の気候
6　中央日本の地名	23　米の作られているところ
7　中央日本の地理	24　果実・畜産・漁業の地図
8　東北日本の自然	25　工業のさかんな所
9　東北日本の地名	26　鉄鋼・石油化学・自動車・ＩＣ
10　東北日本の地理	27　日本列島の人口山脈
11　南の島の自然と地名	28　各地を結ぶ鉄道・道路・航空路
12　南の島の地理	29　国立公園
13　九州イラストマップ	30　保護動植物
14　四国・中国・近畿イラストマップ	31　名所・旧遠・歴史的建築物
15　中部・関東イラストマップ	32　郷土玩具と伝統的工芸品
16　東北イラストマップ	33　お祭り
17　北海道イラストマップ	



写真３　「中部・関東」の絵地図
平凡社発行『ジュニア地図帳　こども日本の旅』，pp. 32～33を撮影。鳥瞰図的に描かれており，絵記号が立体的に表現されている。

めからの日光が山の斜面や建物に当たって影が明瞭に出てくるように描かれている(写真３)。陰影をつけることで地形の起伏もよりはっきりし，景観に立体感を持たせることに成功している，情報量も精選していることもあって，その土地に絵記号がしっかりと立っており，位置関係もつかみやすく，イメージしやすい。

第二に注目すべき点は，見開き１ページ分にできる限り広い範囲を表現していることである。これによっても，国土空間を把握しやすくなったことは確かである。また，日本の国土はすべて緑一色で統一されており，それがかえって，見やすい印象を与えている。

４．同朋舎出版発行『ピクチャーアトラスシリーズ絵でみる日本大地図』の分析

(1)構　成

本書は総頁78ページにも及び，実に様々な角度からの日本列島が描かれている。紙面も大判で迫力がある。導入の「日本列島のすがお」では，まわりの海水をとったらどう見えるかという大鳥瞰図を迫力のあるイラストで紹介している。「日本列島の成り立ち」「生きている日本列島」では地球の不思議なメカニズムを解説し

表４　『ピクチャーアトラスシリーズ　絵で見る日本大地図』の構成

日本列島のすがお	中部地方①
日本列島の成り立ち	中部地方②
生きている日本列島	中部地方③（茅野市の地図）
列島の四季（春）	関東地方①
列島の四季（夏）	関東地方②
列島の四季（秋）	関東地方③（鎌倉市の地図）
列島の四季（冬）	東北地方①
日本上空の地図（春）	東北地方②
日本上空の地図（夏）	東北地方③（象潟町の地図）
日本上空の地図（秋）	北海道地方①
日本上空の地図（冬）	北海道地方②
九州地方①	北海道地方③（松前町の地図）
九州地方②	最大・最高・最長チャンピオン
九州地方③（福岡市の地図）	山地と林業の地図
中国・四国地方①	海流と魚の地図
中国・四国地方②	作物と牧畜の地図
中国・四国地方③（塩飽諸島の地図）	自然の恵みを祝うお祭りの地図
近畿地方①	国立公園と自然の地図
近畿地方②	日本の地図いろいろ
近畿地方③（奈良市の地図）	索引

表5　中部地方における絵記号の分類

		ドラえもんの日本地図（小学館）	地図で知る日本（国際地学協会）	ジュニア地図帳（平凡社）	絵で見る日本大地図（同朋舎出版）	小学校社会科地図帳（帝国書院）
愛知	自然		・伊勢湾台風			
	歴史		・名古屋城 ・豊川稲荷	・名古屋城	・名古屋城	
	産業	・マスクメロン	・メロン　・自動車産業 ・瀬戸物　・中京工業	・自動車産業	・瀬戸物 ・メロン	・毛織物・金魚・メロン・トマト ・キャベツ・自動車・瀬戸焼 ・ノリ・製鉄・にわとり・乳牛 ・ぶた・花
	観光	・明治村	・明治村 ・ライン下り	・ライン下り		
岐阜	自然	・日本アルプス	・寝覚ノ床			
	歴史	・合掌造りの家	・関ケ原　・白川郷 ・妻籠	・関ケ原 ・白川郷の合掌造りの家	・関ケ原 ・白川郷の合掌造りの家	・白川郷
	産業	・なまずおさえ	・春慶塗り			・和紙・柿・ちょうちん・刃物 ・美濃焼・春慶塗・コロナ観測所
	観光	・鵜飼い	・鵜飼い ・高山祭り		・鵜飼い	
静岡	自然	・富士山	・富士山　・天城峠 ・三保松原	・富士山 ・サボテン	・富士山	
	歴史	・登呂遺跡	・登呂遺跡	・登呂遺跡 ・黒船	・登呂遺跡	
	産業	・みかん ・清水のくび人形	・浜松の楽器　・うなぎ ・みかん　・いちご	・浜松の楽器　・うなぎ ・茶摘　・みかん	・ピアノ ・茶	・みかん・いちご・茶・うなぎ ・たまねぎ・メロン・ジャガ芋 ・紙・フィルム・乳牛
	観光		・大井川鉄道 ・天竜下り	・熱海温泉		
長野	自然	・諏訪湖	・日本カモシカ ・雷鳥	・日本カモシカ ・雷鳥　・野尻湖		
	歴史		・松本城 ・善光寺			
	産業	・信州そば　・りんご ・松本のてまり	・高原野菜　・りんご ・諏訪湖の精密機械		・そば　・わさび ・信州みそ	・梨・レタス・すいか・葡萄 ・そば・りんご・アスパラガス ・時計・オルゴール・和紙
	観光					
福井	自然	・東尋坊	・東尋坊 ・若狭湾リアス式海岸	・越前がに	・ズワイガニ	
	歴史		・永平寺	・永平寺	・永平寺	
	産業	・竹人形	・原子力発電所 ・繊維工業・越前和紙	・原子力発電所		・若狭塗・若狭めのう・めがね ・原子力発電所・梅・刃物・繊物 ・越前漆器
	観光					
石川	自然		・千枚田			
	歴史					
	産業	・米食いねずみ ・からくり玩具	・九谷焼・金沢の和菓子 ・輪島塗り	・輪島塗り	・九谷焼　・加賀友禅 ・輪島塗り	・梨・すいか・九谷焼・輪島塗り
	観光	・兼六園	・兼六園 ・輪島の朝市		・兼六園	
富山	自然	・黒部峡谷	・黒部ダム ・ほたるいか	・黒部ダム ・ほたるいか	・ほたるいか	
	歴史		・富山の薬売り			
	産業				・薬 ・チューリップ	・薬・梨・和紙・彫刻・高岡銅器
	観光					
山梨	自然				・富士五湖	
	歴史					
	産業	・葡萄のワイン	・ぶどう棚	・甲府盆地のぶどう	・ワイン	・ぶどう
	観光					
合計		21	49	24	24	59

ており，星座図も地図のひとつとしてとらえ「日本の上空地図」として掲載しているのは，特徴的である。

日本列島を７つの地域に分けて紹介する各地方地図は，それぞれ３つの項目から構成されている。①では各県の特定と名勝地，名産を楽しいイラストで描かれている。②では，その地域の地形を空から見たパノラマ地図で描き，山や川，海，平野や盆地，町かどのように成り立っているかが描かれている。③では，各地域の中から，それぞれ特徴のある地域（例えば，古代の山岳遺跡の残る茅野市，金印発掘の志賀島，平城京の奈良市，源頼朝が幕府を開いた鎌倉市，村上水軍の本拠地・塩飽諸島，芭蕉の歩いた象潟町，江戸末期の国際交流港･松前町）を絵地図で表現している。また，「海流と魚」「列島の四季」「国立公園と四季」などの主題図も盛り込まれている。日本列島の様々な顔，多種多様な海岸線や景観，それぞれの土地で育まれてきた歴史など変化に富む日本の姿を生き生きと伝えるために作られたのが，『ピクチャーアトラスシリーズ絵で見る日本大地図』なのである。

(2)考　察

本書は，子どもばかりでなく大人でも十分楽しめるように構成されている。言い換えれば，子どもの興味や関心を引く配慮があまり見られない。これまでの子ども地図帳に見られたキャラクターは，一切見られない。

しかし，パノラマ地図はユニークな視点で日本列島の地形の全体像をとらえており，今までにない日本列島の姿を見ることができる。ただ各地方地図を３つの項目で構成しているため，せっかくのパノラマ地図には山地や平野，海岸などの地形単位の景観が多く，人文景観が見られないのが残念である。

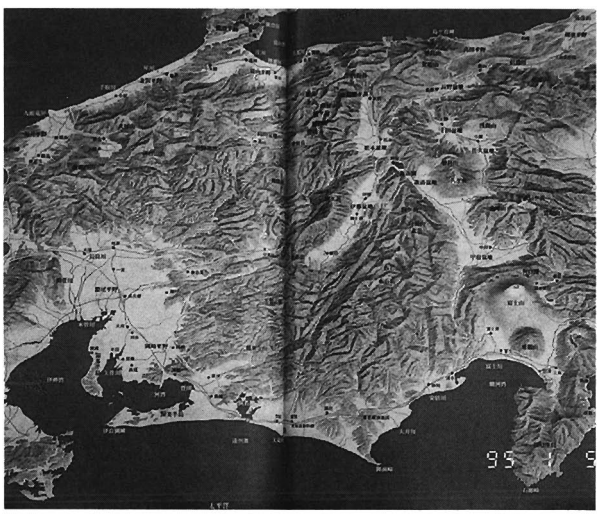


写真４　中部地方

同朋舎出版発行『ピクチャーアトラスシリーズ　絵でみる日本大地図』，pp. 42～43を撮影。パノラマ地図で大胆に日本列島が描かれている。

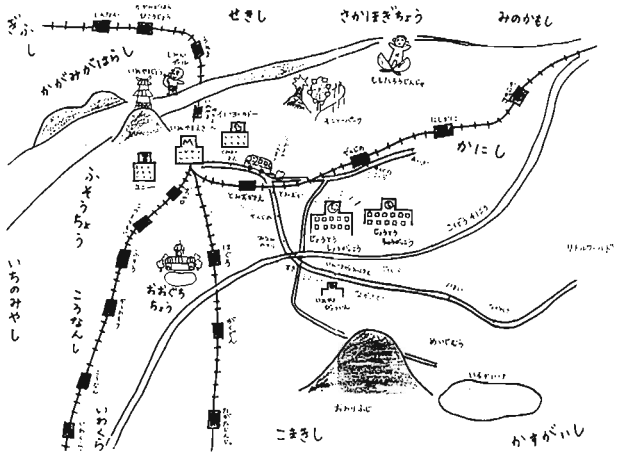
III　子どもの空間認知構造の検出

１．調査方法

調査では自作の絵地図を子どもたちに見せながら会話を通して答えてもらう聞き取りと質問紙法による方法を採った。

前者は，絵地図を見せながら記憶している地名をできるだけ多く言わせ，それを記録していくというものである。自作絵地図は，低学年児童にも容易に判読できるものとした(図)。第２，３学年の男女それぞれ３名ずつで構成されるグループで行い，日常的な遊び仲間を被験者とした。

聞き取り調査と合わせて，質問紙による調査も行った。これは，研究対象地域である愛知県犬山市内の地名と位置関係を含めて，よく知っている地名，聞いたことのある地名，知らない地名の三つに，犬山市を中心とする半径20km圏内の市町村単位の地名を知っている地名，知らない地名の二つに分類するものである。



資料２　記憶地名調査（聞き取り調査）に用いた犬山市周辺の絵地図

（国土地理院　２万５千分の１地形図より作成）

２．調査対象地域の概略と子ども

記憶地名調査の対象として，愛知県犬山市立城東小学校の第２，３学年児童を選定した。

犬山市は，愛知県の最北端に位置し，北は木曾川を隔てて岐阜県各務原市，坂祝町と接し東は岐阜県可児市，多治見市と，南は小牧市，春日井市，西は扶桑町，大口町と接している。また，犬山市は名古屋市の北25kmに位置し，鉄道では名鉄犬山線，小牧線で結ばれ，道路では国道41号線を名古屋市と結ばれている。東名・名神，中央自動車道のインターチェンジや名古屋空港も至近距離にあり，名古屋市中心部と岐阜市中心部へ，ともに電車で25分で到着できる利便性を有している。

犬山市立城東小学校は，犬山市のほぼ中央に位置し，学区の大部分は丘陵地になっている。学区の中央には国道41号線が走っており，子どもたちには馴染み深い道路となっている。また，学校から数百m離れたとこ

ろには，名鉄「富岡前」駅がある。

3．記憶地名の分布と「動線」

第２，３学年児童を対象に行なった聞き取り調査の会話中に出てきた記憶地名を地図上に表したものが，図１である。紙面の都合上，第３学年男子の例のみ示したが，男女共，学校から犬山駅への分布の方向性が見い出された。学区から西の方向へは，犬山駅行きのバス路線にもなっており，利用が高いためである。南西の方向には，名鉄犬山線，小牧線，国道41号線が伸びており，名古屋市と犬山市を結んでいるため，子どもの心的方向軸としての「動線」は，名古屋方面に伸びていることが明らかである。

記憶地名の分布バターンから子どもの空間認知の構造を検討すると，いくつかの圏構造を呈していることがわかってくる。まず，記憶地名群の分布密度が高く，位置関係（記憶地名間の距離や方向）がほぼ正確である範囲が認められる。それは，子どもの空間行動がほぼ自由に行える範囲であると考えられている。この範囲を第一圏とする。

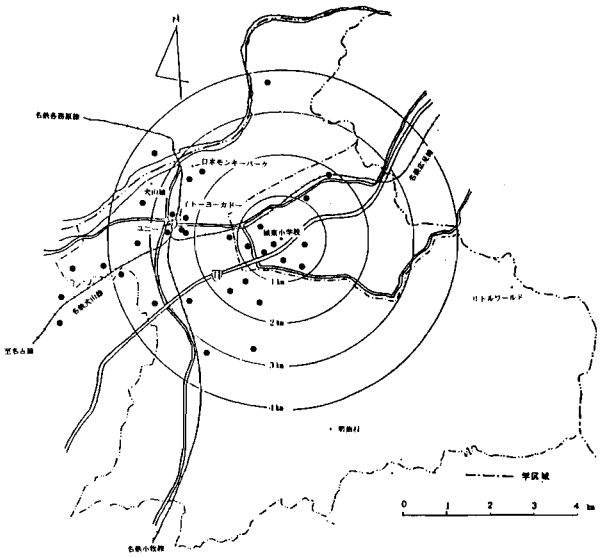


図１　城東小学校第３学年男子グループにおける記憶地名分布
（記憶地名調査より作成）

次に位置関係は正しいが，記憶地名群の分布が相対的に荒くなる範囲がある。これを第２圏とするが，ここでは全く自由な行動はできないにしても，子どもの遊びや行動と結びついた範囲と見られる。さらに，そうした第２圏の外側には極めて断片的な記憶地名群があり，その分布範囲を第３圏とする。第３圏では位置関係の誤りは多いが一方，有名な場所や交通上の結節点に当る場所と結びついた地名が多い。

今回の聞き取り調査による分布パターンをもとに城東小学校の子どもたちの空間認知構造を表したものが図である。

第１圏は，第２，３学年とも学区域とは必ずしも一致しなかった。これは城東小学校の学区域の大部分が丘陵地であることに大きく関係している。学区内の集落は，丘陵地の谷間に密集し，主要な交通機関もこの谷間に沿って走っている。子どもたちの自由な活動の範囲もこの谷間に限られることが多くなってくる。

また，第２学年から第３学年にかけて，前述した「動線」によって空間認知の構造が拡大している傾向がみられ，とくに第２学年の調査結果では，子どもたちから，まだ名古屋や岐阜の方向感が見られなかったが，第３学年になると動線として機能している名鉄線を通して名古屋や岐阜の方向感が見られるようになった。このように子どもの空間認知の拡大は，動線と深い関係かあることが改めてわかるようになった（図２）。

4．地図における「動線」の役割

これまで，城東小学校の第２，３学年の子どもたちを対象に子どもたちの頭の中の空間がどのように広がっているかについての考察を行ってきた。その結果，城東小学校の第２学年では犬山駅につながるバス道路もしくは名鉄の線が第３学年では犬山と名古屋を結ぶ

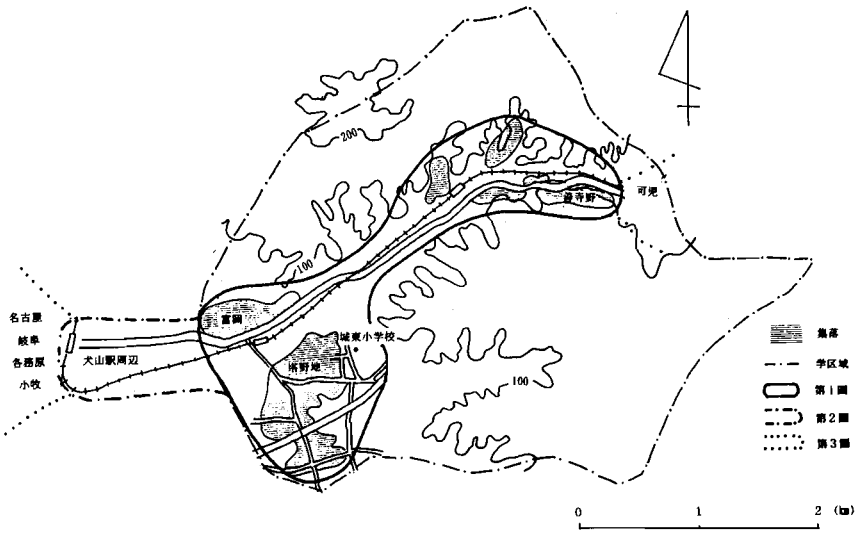


図２　地名を指標とした児童の世界像（城東小学校第２学年の場合）
（記憶地名調査より作成）

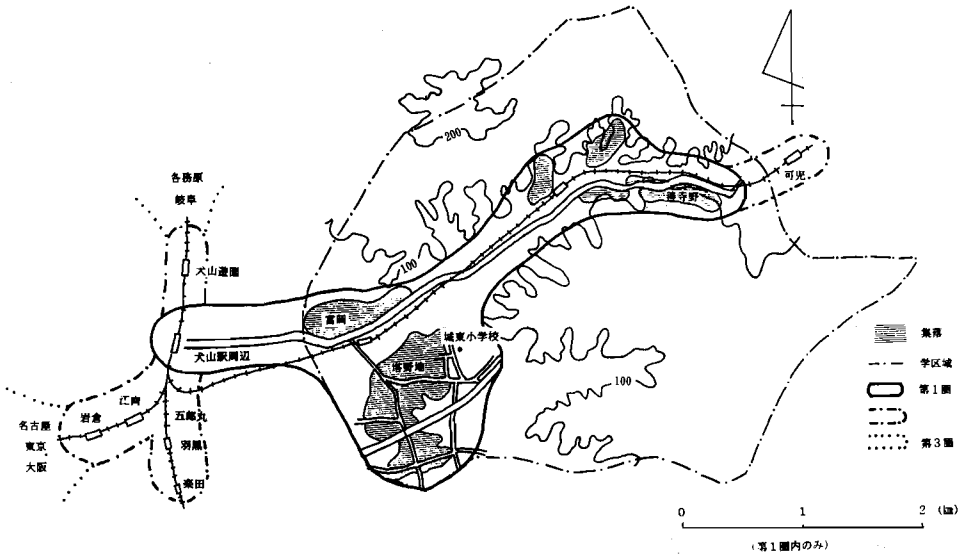


図3　地名を指標とした児童の世界像（城東小学校第3学年の場合）
（記憶地名調査より作成）

名鉄線が動線として機能していること，また子どもたちの「憧れの地」に向って心的方向が向いていることなどが明らかとなった。この結果をもとにして空間表現の方法を検討してみると，子どもの頭の中で別々に存在している空間を「動線」で結ぶことによって，ひとつの空間として広がりをとらえることが可能となるといったひとつの方法が考えられる（図3）。

子どもたちは直接経験以外からも地名を獲得する。「アメリカ」「中国」などの主要国名や「ハワイ」「グァム」など日本人にとって著名な観光地名などは実際に行ったわけではないが，マスメディアや大人の会話など間接的な体験を通して子どもの中に入ってくる。しかし，地名同志の空間包含関係が十分理解できていない子どもにとっては，こうした地名と自分との位置関係は，混乱のもととなる。こうした子どもの世界像を身近な認知空間から無理なく世界へと移行させる方法として「動線」の活用が地図学習の上でも考えられるに違いない。

Ⅳ　子どもの空間認知を生かした国土絵地図の試作

1．基本コンセプト

試作絵地図では，地図に「動線」を表示することを考えた。城東小学校が位置する犬山市の子どもが，東京ディズニーランドという子どもたちの憧れの地まで旅するという設定によって作成された。この動線は，犬山から名古屋までの名鉄線と名古屋から東京までの東海道新幹線と高速道路とした。動線をはっきりと表示することで，子どもたちは指で動線を追うことができる。空間包含関係が理解できない子どもたちにとっては，身近な地域の地図は理解できても，直接経験のできない地域の地図を理解することは，困難である。しかし，子どもたちが動線を基準に犬山市周辺の絵地図からより広範囲のもう1枚の絵地図へと移行できたとき，子どもたちは空間の広がりを地図から感じるのではないかと考える。

2．盛り込む情報量の精選

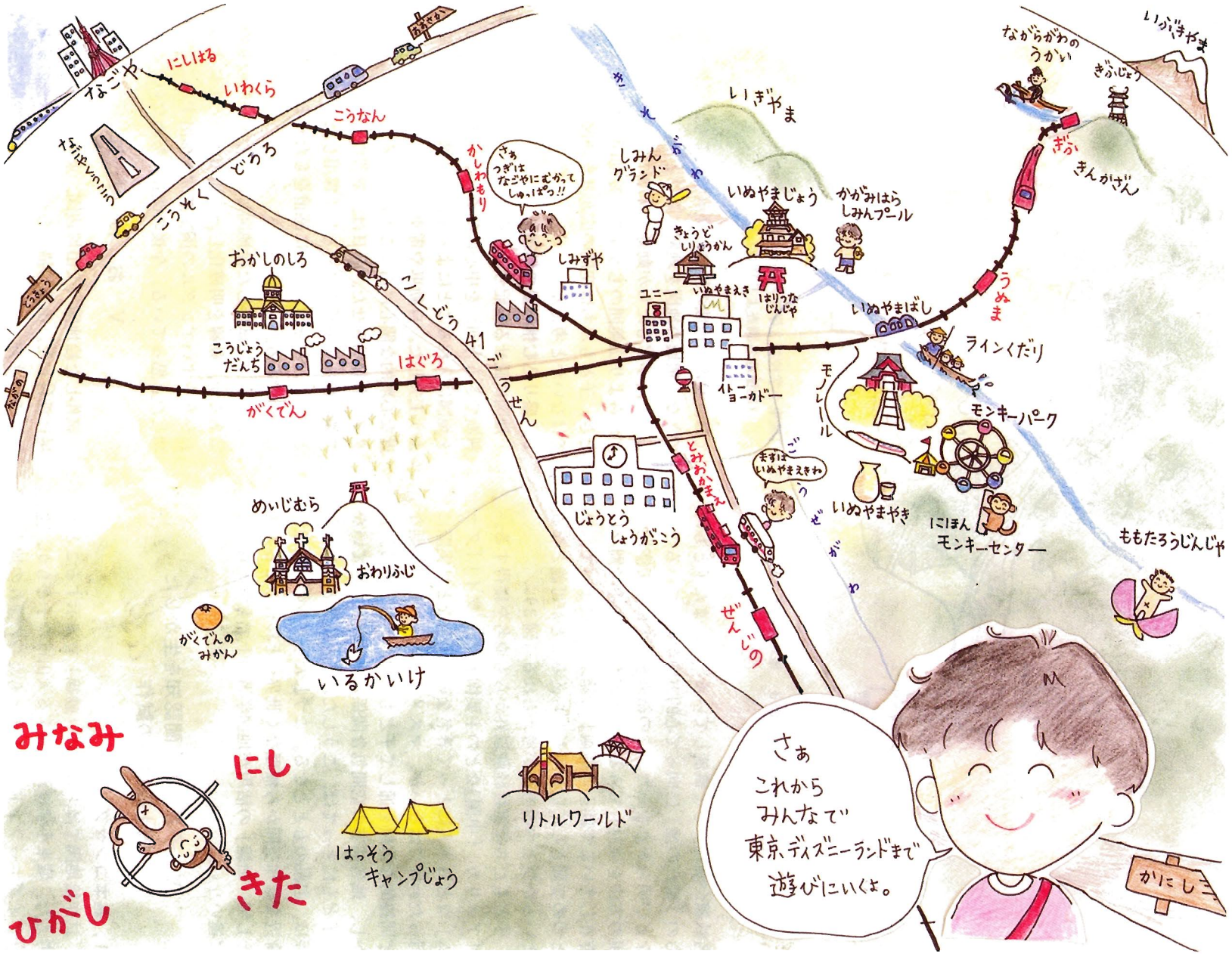
地図に載せる絵記号は，横から見た絵（ものの形を判断できる方向）を中心に配置した。また，動くものを地図に入れることによって，より楽しいものとなるよう工夫した。自動車や電車，人などは，子どもの身近な心理的な関心に沿うことができる。また，キャラクターも登場させた。今日は，筆者の一人である山田の顔の絵をキャラクターとして採用した。吹き出しもとり入れ，キャラクターに感情をもたせるように工夫したのである。

このように試作した絵地図は，まだ未完成のものではあるが，動線を明確化し，犬山市の子どもにとってわかりやすいアングルの国土空間を抽出することに成功したと思っている。今後の改良に努めたい。

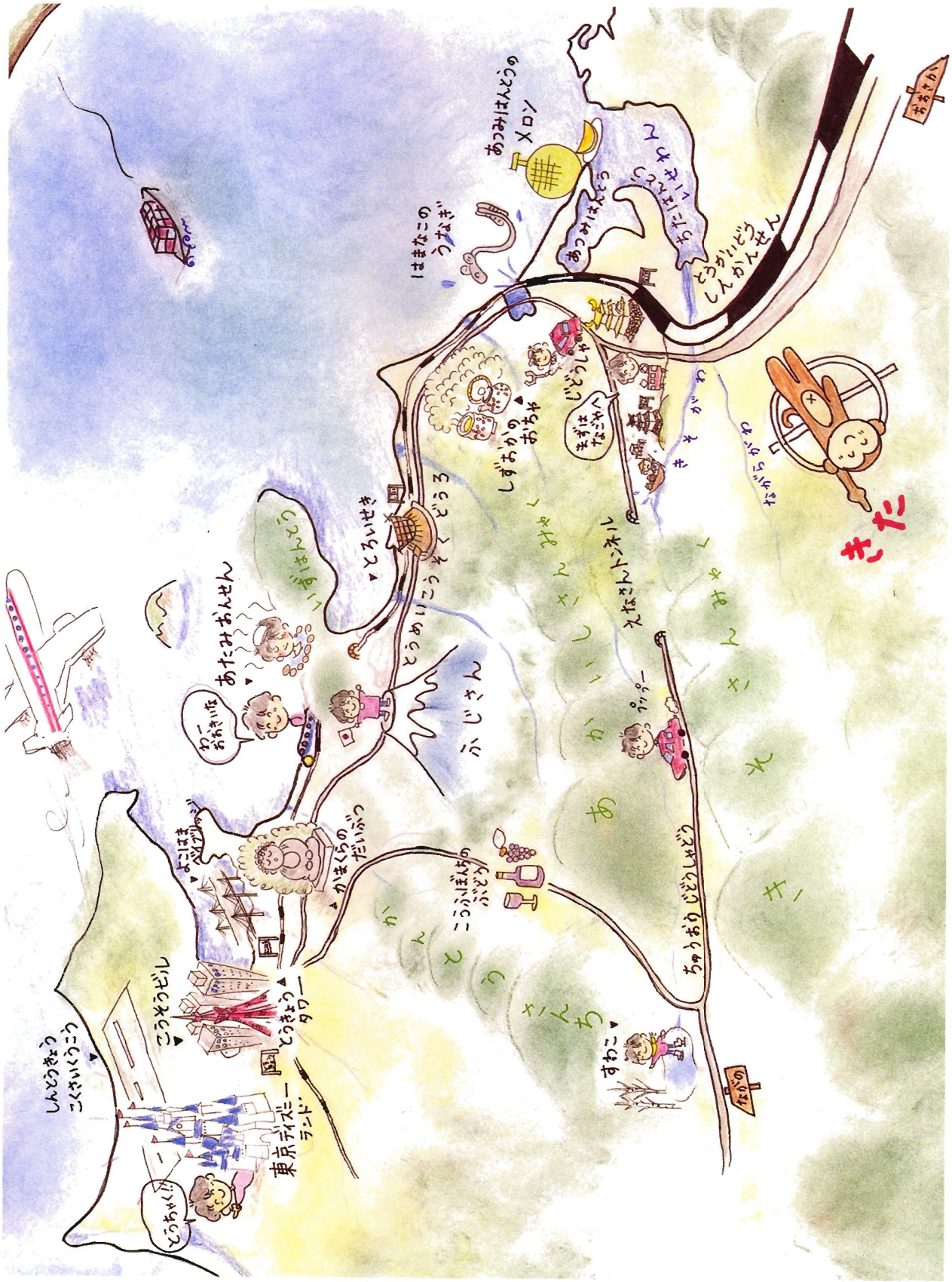
Ⅴ　おわりに

試作した絵地図（犬山周辺図，東京までの旅）を末尾に添付した。山岳の描き方やキャラクターの使用，地名のつけ方，エゴセントリックな国土空間の視座など問題提起となれば幸いである。なお，本研究内容は平成6年度の山田の卒業研究を寺本が修正し，再構成したものである。

（平成7年9月11日受理）


なごや
にしはる
いわくら
こうなん
こうそくどうろ
かしわもり
さぁつぎはなごやにむかってしゅっぱつ!!
しみずや
おかしのしろ
こうじょうだんち
はぐろ
がくでん
こんどう41ごうせん
しみんグランド
いぬやまじょう
かがみはらしみんプール
きょうどしりょうかん
はりうなじんじゃ
いぬやまえき
ユニー
イトーヨーカドー
いぬやまばし
うめま
ラインくだり
モノレール
モンキーパーク
にほんモンキーセンター
いぬやまやき
ますはいぬやまえきわ
とみわかまえ
じょうとうしょうがっこう
ぜんじの
ながらがわのうかい
きふじょう
いぬやまやま
きんがざん
ももたろうじんじゃ
めいじむら
おわりふじ
がくでんのみかん
いるかいけ
りトルワールド
はっそうキャンプじょう
みなみ
にし
ひがし
きた
さぁこれからみんなで東京ディズニーランドまで遊びにいくよ。
かにし

寺本　潔・山田芳江


あつみはんどうの
メロン
はまなこの
うなぎ
あつみはんどう
ちゅうおうじどうしゃどう
とうほくじどう
しんかんせん
おおさか
じどうしゃ
しずおかの
おちゃ
まずは
なごや!
ぎふ
とろいせき
とうめいこうそくどうろ
ふじさん
えなさんトンネル
あたみおんせん
やっ
おおきいね
よこはま
ベイブリッジ
かまくらの
だいぶつ
こうふぼんちの
ぶどう
ちゅうおうじどうしゃどう
すわこ
ながの
しんとうきょう
こくさいくうこう
こうそうビル
とうきょう
タワー
東京ディズニー
ランド
とうちゃく!!